

なかさと

かよく しこく わやかに もに輝く

学校だより 第16号



一関市立中里小学校

令和2年10月20日

☆∞ ~心を一つに~ 全力・協力・笑顔 楽しく学べる中里小 ∞☆

10/17(土)

学習発表会



新型コロナウイルス対応のため、どのような形なら実施が可能か悩みながら計画し、県内での感染状況にヒヤヒヤしながら当日を迎えることとなった、今年度の学習発表会。あれこれ制約があり、例年披露している全校合唱をご披露することはできませんでしたが、どの学年も、学年に応じた題材で発表の仕方を工夫しながらシナリオを考え、練習を重ねました。

会場において頂けるお客様も制限せざるをえなかったのですが、用意した客席が埋まるぐらい沢山のお客様を目の前に、子どもたちは、緊張しながらもはりきって発表しました。今年度の開催にあたっては、例年と異なる配慮事項が多々ありましたが、保護者の皆様のご協力と励ましのおかげで、なんとか実施にこぎつけることができました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



1年生

「おむすびころりん」



昔話の「おむすびころりん」が、現代の「なかさと子バージョン」で登場。ころころころがるおむすびに誘われて、一緒に入り込んだネズミの世界で、しっかり手洗いしてお餅つき、かわいいダンスに魅了されました。道具の出し入れも、自力で頑張る1年生に感心！



2年生

「スイミー」



レオ=レオニさんの「スイミー」の世界を、音読劇として上手に再現しました。一人寂しく海を泳いでいたスイミーが、個性的な配役で演じる海の生き物たちに出会って、海の世界の素晴らしさに気づきました。2年生の小さな魚たちが力を合わせて、大きな魚を追い出して海に飛び出しました。



「発見！
すみよい町 すみやすい町」

3年生



総合的な学習の中で行った「キャップハンディ体験」の様子を映像とともに伝え、学習の中で学んだ手話を披露しました。手話を用いた自己紹介のあと、「サザエさん」の歌も手話で披露。最後は、手だけでなく全身を使って元気な3年生のパワーを「中里ソーラン」で発揮！



国語で学習した「ごんぎつね」を音読劇にしました。音読で雨の降る情景を表現したり、学期の音色で場面の切り替えを表現したり、兵十の切ない気持ちをリコーダーで表現したり、表現方法をいろいろ工夫しました。4年生の力と心を合わせて、しっかりと表現しました。



宿泊学習で学んだことをスライドや演技で紹介しました。祭時大橋を見学して学んだ震災のこと、健康の森で学んだ蝦夷のことや自然のこと、友だちと協力して活動して学んだこと等、収穫の多さを感じました。会場のお客様にもご参加頂いた場面もありました。ご協力に感謝です。



国語で学んだ「宮沢賢治」について、さらに深く調べたことを、教室の一場面にして伝えました。担当グループごとに発表の仕方を工夫して、賢治さんについて紹介しました。これから修学旅行で訪問する賢治さん関係施設で、調べたことを確かめてくる決意も伝えました。



高学年の子どもたちが後片付けに駆けつけました。率先して働く姿勢には、大舞台を終えた満足感とともに、中里小高学年としての自信が現れていました。

今回の運営でも、受付・消毒作業でPTA役員の皆様のお手伝いをいただきました。ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様からアンケート用紙が届いております。子どもたちの活躍にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。子どもたちにも伝え、学習発表会に向けた取組の成果をみんなで共有しながら、さらなる活躍の原動力にしていきたいと思っております。また、参観できなかった学年については、VTR視聴等によりご覧いただける機会等を設ける予定であります。